学校番号	４１１

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自主・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	生活ガイドブック　データ＆グラフ　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の普段の生活に関心を持とう。
・生活のさまざまな現象や課題を授業や班での話し合いなどによって理解を深め、知識を身につけよう。
・実践的・体験的な学習を通して生活に必要な技術を身につけよう。
・学んだことは自分の実生活に生かそう。また、生活の向上にも役立てよう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実的向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者のかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図る為の課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者のかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者のかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画 実習記録表 レポート 発表、自己評価など	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画 実習記録表 レポート 発表、自己評価 定期考査など	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画 実習記録表 レポート 発表、自己評価 定期考査など	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 調理計画、製作計画 実習記録表 レポート 発表、自己評価 定期考査など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい人生をつくる	１家庭科の学び方 ホームプロジェクト（HP），学校家庭クラブについて ２生涯発達の視点 ３青年期の課題 ４目標を持って生きる ５人生をつくる ６家族・家庭を見つめる ７これからの家庭生活と社会	○	○	○	○	a:青年期の生き方について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見出し、その解決を目指して考えている。 c:自分の人生をどう送るか資料などを参考に将来を想像しながらまとめることができる。 d:人の一生を自分の問題として捉えるための知識が身についている。	授業観察 プリント レポート 定期考査
5月	衣生活をつくる	●この単元は1学期、2学期にわたって学習する 5布を用いて身近なものをつくる	○	○	○	○	a:製作実習に意欲的に取り組んでいる b:手順に従って製作している c:基本的な縫製技術を身につけている。 d:平面構成と立体構成の違いが理解できたか	授業観察 作品 製作計画 自己評価
6月	子どもとともに育つ	1子どもの育つ力を知る 2親としてともに育つ 3子どもとの触れ合いから学ぶ 4これからの保育環境	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:子どもに対するイメージを膨らませて、実践的・体験的な学習を通して、学習に取り組もうとしている。 b:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってやい環境とは何か、また親の役割や子どもを生み育てることの意義について考えまとめたり発表したりすることができる。 c:親の役割や子どもにとってふさわしい保育環境について、自分の考えを入れながらまとめることができる。 d:子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、人と関わりながら成長することを理解している。	授業観察 プリント レポート 定期考査

7月・8月	高齢社会を生きる	1高齢者を理解する 2高齢者の心身の特徴 3これからの高齢社会	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決を目指して考え表現している。 c：高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立を支える技術を身につけている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識する為に必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント レポート 定期考査
9月	衣生活をつくる	1被服の役割を考える 2被服を管理する 3これからの衣生活	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：被服管理と着装、健康で快適な衣生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見出しその解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で快適な衣生活を営む為に必要な被服計画、被服整理などの技術を身につけている。 d：被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営む為に必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント レポート 定期考査
10月・11月・12月	食生活をつくる	１食生活について考える ２食生活の安全と衛生 ３食事と栄養・食品 ４調理の基礎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について課題を見出しその解決を目指して考えている。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営む為に必要な栄養、食品、調理、食品衛生などの技術を、調理実を通して身につけている。	授業観察 プリント レポート 実習計画 自己評価 定期考査

							d：栄養、食品、調理、食品衛生などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を営む為に必要な知識を身につけている。	
1月	住生活をつくる	1住生活について考える 2住生活の計画と選択	○	○ ○	○ ○	○ ○	a：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見出しその解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適かつ健康な住生活を営む為に、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適かつ健康な住生活を主体的に営む為に必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント レポート 定期考査
2月・3月	経済生活を営む	1家庭の経済生活 2現在の消費生活 3これからの消費生活と環境	○	○	○	○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案する為の技術を身につけている。 d：現在および将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計の為に必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。